

議事録		作成日	令和4年7月5日(火)
		作成者	久保 嘉奈子
会議名	放送番組審議会		
開催日時	令和4年6月23日(木)	12:00~13:15	開催場所 ワークテラス佐久
参加者	放送番組審議会委員 秋山会長・加藤委員・依田委員・鈴木委員 金野委員・坪根委員	佐久ケーブルテレビ 細井社長・佐藤常務・小泉技術部長 番組制作課:佐藤課長・藤澤主任・久保(書記)	
次第	1 開会 2 社長あいさつ 3 会議事項 (1) 自己紹介 (2) 会長・副会長の選任について ア.会長について イ.副会長について (3) 番組審議 ア.映像①SAKU いち Today'sPickup「佐久の歴史探訪」 映像②SAKUいち新コーナー「図書館職員おススメの本」ほか イ.SAKUいちで発生した「肖像権」が関係する放送事故について (4) その他 4 閉会		

内 容

1. 開会

委員 7 名中 6 名の出席があり、本審議会が成立することの報告。

2. 細井社長挨拶

佐久市内のメディアとして、音声、映像で視聴者に与える影響が大きい。視聴者から信頼される内容になっているか、地域密着の放送局としてふさわしいか。番組が役に立ったと言ってもらえるよう、努力してまいります。ご審議宜しくお願い致します。

3. (1) 委員・事務局の自己紹介

【番組審議委員】下記順番で自己紹介

- ・秋山賢一委員
- ・加藤勝登委員
- ・依田淑史委員
- ・鈴木祥子委員
- ・金野充博委員
- ・坪根徹委員

【事務局】下記順番で自己紹介

- ・佐藤常務、小泉部長、佐藤課長、藤澤主査、久保

3.(2)ア.会長の選任

会長の選任について依田委員より秋山委員推薦の発言。

全会一致の拍手にて承認。

秋山賢一委員を選任。会長の任期は 2 年間(令和 6 年 3 月まで)。

秋山会長より、番組審議委員会の目的の説明。

視聴者の目線で話ができたら良い。活発な意見交換をお願いします。

秋山会長の進行で、会議事項へ移った。

3.(2)イ.副会長について

副会長については次回審議する。

会長不在の場合、都度、議員のみなさんをお願いする形で進めていくことで承認。

3. (3) 番組審議

映像①SAKU いち Today`sPickup「佐久の歴史探訪」

【佐藤課長】

これまで鳥・植物のコーナーを放送。鳥コーナーが昨年度末に終了。新たに歴史のコーナーを始めることになった。鳥コーナー出演の木内さんに適任者の相談をしたところ、今回、丸山さん(臼田在住)・福島さん(望月在住)をご紹介いただいた。

丸山さんは臼田在住で、臼田町史出版にも携わった。福島さんは旧望月町役場職員、望月町史出版にも携わり、石仏にも詳しい。弊社FTTH化について、力を入れていく必要のある場所のため、トップバッターとして起用。今後、幅広くコーナーを続けていきたいため、いろんな人にでてもらいたい。

内 容

映像②SAKUいち新コーナー「図書館職員おススメの本」ほか

【佐藤課長】

佐久市立図書館の依田館長には、一年前から声をかけていた。コロナの影響もあり、自宅に居る時間が増えたため、その時間を有効に使ってもらうために始めたコーナー。話を進めていく中、課題も有り、なかなか進まなかったが、今始めなければ意味がないのではと考え、依田館長に再度相談、5月から始まった。佐久市立図書館は、歴史的資料を今後どうアーカイブしていくかという課題もある。その佐久の財産を残していくという意識を、市民にも持ってもらうきっかけのコーナーになったらいい。

②秋山委員長により議事進行、意見聴取

【鈴木委員】

「佐久の歴史探訪」→興味深く見させてもらった。佐久に20年以上いるが、知らないことばかりだった。コーナーが続いているんなことが知られたらいいなと思った。見ていて、耳だけではなかなか浸透しない。字があるとわかりやすいのではないか。

「おすすめの本」→子ども教育・社会教育に対してやさしさと情熱、依田緑先生(館長)をはじめ、他の図書館の職員の人柄もでてくるようなコーナーに育ってくれたらうれしい。

【加藤委員】

「佐久の歴史探訪」→新海神社の宝物殿について、田口の人たちの情熱を掘り下げてくれたらもっと良い。

福王寺の桜も素晴らしい桜なので時期にみんなに見てもらえたらいい。

千手観音の両脇にあった仏も見てもらえたらいい。地元の人たちとも親しく話せたらいい。

「おすすめの本」→自分は東小学校で習字の先生をしているが、依田先生(館長)は当時校長だった。素晴らしい先生。今後素晴らしい本を紹介してくれたらなと思う。

【金野委員】

佐久には知人もいない中来て、悠々自適をイメージして移住してきた。佐久に来て福王寺も新海三社神社もよく行く。スタードームも何度も行き、孫も連れて行き、素晴らしい施設だと思った。香坂の遺跡も驚いた。佐久にはいろいろなものがあって、面白い。だが、移住してきた人たちや、若い世代はそれらを知らないと思う。私が住んでいるアベニュー区は佐久ケーブルテレビを全世帯で見れるように整備しているが、それすら知らないのではということを感じている。佐久ケーブルテレビの番組で佐久の良いところをもっともっと紹介してほしい。思っていた以上に興味深い場所がたくさんある地域だと感じている。

【秋山会長】

字幕について。テレビで字幕が多くなってきていると感じる。声と合わせて字幕があり、情報がたくさんあると、わかりやすい構成になるのではと感じた。地区ごとに取り上げるなら、例えば区長に出演してもらい、知られざることを紹介してもらい、新しいこと、知りたいことを、地元のゲストなどを呼んで紹介するともっと深くなるのでは。

隣の人が出ていたり、区長さんが出ていたりすれば、より見たくなるのでは。

【細井社長】

字幕について。民放では、しゃべりながら自動変換してくれる機能もある。ケーブルテレビは規模が小さいので、自動変換をケーブルテレビの連盟で所有するようになってきた。また、AI アナウンサーというのもあり、書いた文面を差し込むだけでAIが話してくれる機能もある。放送は人件費がかかるので、これから業界の中でもだんだん工夫して進めているところです。

内 容

【依田委員】

「佐久の歴史探訪」→篠沢さんが出演していた「とことこ 39」と被らないか？前から見ている人はどう感じるのか意識してもらえたら。また、撮影するときの注意点として、ドローン撮影などは、許可取らなければいけないの見極めをしっかりとしてほしい。所有者の許可をとっているという字幕があるとよい。

字幕も1人で行っているとミスをするので、撮った人と違う人の二重チェックが必要だと思う。

【坪根委員】

文化的なことだけではなく、生活的なことも良いのでは。たとえば、最近変わったが、全国放送されている番組だと思うが、ゴム手袋がどうやってできるのかなどを紹介した番組は興味深かった。佐久市のゴミがどのように処理されているのか、だから分別をしなくてはいけない、とか、佐久市で生活するうえで必要な情報を深掘りするのも、ケーブルテレビの一つの切り口としていいのではないかな。

【秋山会長】

他局で川の川上から川下まで行く旅を見せる番組を見たことがあって、面白いと思ったのは、ペットボトルのリサイクルで繊維に加工し、NBA 八村塁のユニフォームを作ったというストーリーがあったのが面白いなと思った。そういうストーリーがある番組ができるといいと思う。

【小泉部長】

ドローンの許可については以前指摘をいただいて以降、許可をもらっている旨を字幕で入れているがもう少し目立つようにする。

ゴミについて、新しいゴミの分別について、間違えた解釈によって間違えて分別しているケースが発生している。佐久市と協力して、分別の映像を作っていけるようにしたい。

イ.SAKUいちで発生した「肖像権」が関係する放送事故について

【佐藤課長】

「SAKU いち」内の公民館学習グループを紹介しているコーナーがある。

公民館のつどいででのステージ発表がコロナの影響で中止になっている中、過去のステージ発表をご覧いただきながら、学習グループのみなさんの活動状況などを電話でお話しいただいている。

放送事故は、5月17日、野沢公民館「夏姫会」で発生。

毎回、電話で対応してもらう方の顔写真を画面に表示している。

この日、電話で話している方として出した顔写真が同じグループの違う人だった。

誤って顔写真を出してしまった方には、自分の顔が出ることについては了承を得ていない。

肖像権の侵害にあたるもので、こちらの方には大変ご迷惑をおかけしてしまった。

今後このようなことが起こらないように対策をしていきたい。

【坪根委員】

間違いが分かった経緯については？

【佐藤課長】

ご覧になった方から連絡がきてわかった。

【加藤委員】

過去の映像を流していると絶対ミスは起こる。当時の記憶も曖昧になるので、二重、三重にチェックをしてもらい、気を付けていただくしかないと思う。

内 容

【秋山会長】

確認の手段について、若い人たちだと確認しやすいと思うが、ご高齢の方になると電話じゃ顔写真の確認ができないし、FAX も持っていないし、メールもないという話になると、なかなか確認が大変かなと。

【佐藤課長】

放送事故後の対応については、確実な確認の手段がない場合は、先方の了承を得て直接お会いしている。過去のステージから写真を切り取るのではなく、その場や最新の写真を撮る対応をしている。

【秋山会長】

「確認ができなかったら、そこは映さない」。という基準を持っておけば、無理に出して後で失敗したという話にはならないのかと思う。

間違ったものを出すなら出さない方がという感覚で。毎日、編集とか大変だと思うので、それを一個一個やっていくのは大変。ルールを整理できていれば、作業面・精神面でも大変なところが減ると思う。

【依田委員】

確認するということは落ち着いていないとできない。

二重・三重チェックといってもその人が忙しいと意味がない。

難しいことなので、他のケーブルテレビがどうやっているか情報交換していただければ参考になるかもしれない。

歴史探訪は字体(昔の旧漢字の場合)に気を付けてもらいたい。資料などデータでもらえたら良いが、手書きの場合確認が大変。こちらにも注意を。

4.その他

【佐藤課長】

番組表を配布。

もともと当社で放送を継続していた番組だが、コロナ禍で放送を止めているものがある。再開したいが、良い意見があったら教えてほしい。

【佐藤常務】

すぐには難しいと思うので、また個々にご連絡いただき、アイデアをいただければと思う。

【鈴木委員】

SAKU いち内クロマキーの不具合でキャスターの服まで抜けていることがあった。

そういうミスがあった時には一言お詫びの言葉があったらよい。

生放送中について地震などの緊急事態が発生した時のマニュアルはあるのか。

【佐藤課長】

生放送中の緊急時の対応について、完全な体制はできていない。

ケーブルテレビでやっている局もある。そこで作っている原稿を手元に置いている。実際に起こった時には、災害により情報が違うので、色々な場面を想定して訓練を行っていきたい。

【鈴木委員】

突然起こることなので、アナウンサーの人たちは訓練しておかないととっさにできないと思うので体制づくりをお願いしたい。

内 容

【秋山会長】

進行を事務局へお返しします。

【小泉部長】

ありがとうございます。今後、反映させてこれからもより良い番組を作っていきますのでよろしくお願い致します。

